

永藤英機の活動報告

東日本大震災の被災地を訪れて

4月23日から25日にかけて岩手県の被災地を訪れました。遠野市では大規模災害時の後方支援体制について、陸前高田市では現状と復興の課題、大船渡市では岩手県の復興計画について確認すると共に、大阪府から派遣されている職員の方々と意見交換を行いました。また、各市にて3年前の視察時と同じ場所を訪れました。当時と違い瓦礫の山はほぼ見られなくなりましたが「復興」という意味ではようやくこれからといった印象です。



一方で希望の芽も着実に育っています。被災地の商店街はそれぞれの地で仮設店舗に移り営業を再開し、3年前にボランティアでどす黒いヘドロをかき出した用水路には透き通った水が流れ、三陸鉄道南リアス線は今年4月に全線復旧を果たしました。被災地の復興は、日本の復興。大阪からも継続して支えられるように意識を持ち続け、日々の活動に反映していきます。



特集『大阪都構想とは』 「私たちが目指すこと」

大阪を再生させ、皆様がより豊かな生活を送るには、それを阻害している現在の行政の仕組みや考え方を大改革し、**ムダを省く**ことはもちろん、**税収や収益を増やして地域に効果的に還元する仕組み**をつくる必要があります。そのために、私たち「大阪維新の会」は次のように考え、行動しています。

1. 広域行政の権限と財源の一元化。

国内外からヒト・モノ・カネを呼び込む仕組みづくり。

2. 行政サービスの強化・充実。

住民に身近な基礎自治体＝特別区の設置。(区長は区民が選挙で選ぶ。)

3. 二重行政を解消し、行政の効率化・機能化。

二重行政のムダを徹底的に排除。



大阪府
りんくうゲートタワー659億円



大阪市
WTC1,193億円

大阪府、大阪市が別々に計画し、多額の税金を投入したうえ、双方とも破たんしました。

※大阪維新の会や「大阪都構想」に関するご意見・ご感想、ご質問などがございましたら、以下までお送り下さい。
FAX：06-6946-5391 (大阪府議会議員団控室)
メール：ishin14@oneosaka.jp



府議団、改革の軌跡

府議定数21人(20%)を削減！

—全国最大規模削減—

平成23年5月定例会において、府議定数を現行の**109人から88人へと21人削減**する条例改正を可決成立させました。
「大都市にふさわしい広域自治体の議員定数は人口約10万

人に議員1人が妥当」とする大阪維新の会の基本的な考えに基づき、**議員自らが大幅な削減を断行すべきという信念**に立ち、全国でも例を見ない大規模削減を実現させたものです。

府議会では議員定数の抜本的な見直しを何度も協議・検討してきましたが、各会派の思惑が常に一致せず、結局、総論賛成、各論反対、そして結論先送り。この繰り返していつも府民をがっかりさせてきました。維新府議団が過半数を取り改革を断行したことにより、これに終止符を打ちました。

大阪府議会の議員定数の変遷

年	定数(人)	大阪府人口
S50	112	827万9000人
S54	113	844万7000人
H11	112	880万9000人
H23	109	886万5000人
...	↓	
H27	88	(人口10万人に1人)